

報 告 書

開 催 日 時	令和 5 年 2 月 3 日（金） 13 時 27 分～15 時 33 分	
開 催 場 所	第 2 常任委員会室	
出 席 委 員	河内大輔委員長、南波 巖副委員長、三島良信委員、森脇勇人委員、森脇幸好委員、石倉茂美委員、柳原 治委員、海德邦彦委員、山根 宏委員	
	司 会 者	河内大輔委員長
	報 告 者	河内大輔委員長
参 加 人 数	松江商工会議所青年部、まつえ北商工会青年部、まつえ南商工会青年部 東出雲町商工会青年部、松江青年会議所 14 名	
主 な 意 見 等	○参加者 総合計画に関し、全体的にはよいと思うが、注目してもらうことも大事であり、目立つ政策が必要と考える。 ○出席委員 中身が少し平坦であると感じたところもある。毎年、実施状況について総合計画特別委員会で報告を受けるので、頂いた御意見を参考に、抑揚のある計画をつくっていききたい。 ○参加者 総合計画は、ほとんどのことが網羅されていると感じるが、作成段階のことを知っている議員から見て、どこか問題点を感じているか。 ○出席委員 議員からもいろいろな意見を言って、これが出来上がった。今後も 2030 年の目標達成に向けて紆余曲折あると思うので、皆さん方からの意見を聞いて参考にしたいと思っている。 ○参加者 近隣の市議会同士の意見交換会を行っているのか。 ○出席委員 議長が中海宍道湖大山圏域の議長会に参加し、圏域の課題を話し合い、島根・鳥取両県の知事や国会議員へ要望をしている。また、道路や新幹線の議員連盟を結成し、議員連盟で連携をしている。 ○参加者 地元に若者がいない。県外に出て、なかなか帰ってこない。子どもに自分の地元が素晴らしいところだと思ってもらえる仕組みを考えたらよい。 ○参加者 一人暮らしの老人の方が多いので、シェアハウスがあってもよいのではないか。また、気軽に送迎できるシステムがあればよいのではないか。 ○参加者 学校に通いたくて通えない子どもがいるので、リモートのシステムを取り入れたり、自由な校風の高校があればよい。 ○出席委員 宍道高校がフリースクールのような形で行っている。 ○出席委員 松江市では、ほとんどの高校生がスキルアップのため、県外、市外へでてしまうが、戻ってもらうためにはどうしたらよいと考えているか。	

○参加者 教育委員会の依頼で、小中学校で話をするが、地元の魅力をきちんと知ってもらったうえで、県外、市外に出ることはよいと思う。出るなら帰ってきやすい環境を作ることが大事。

○出席委員 出生率向上に関し、子どものいる家庭に対し、月々どのくらいの支援、給付があれば助かるのか。

○参加者 給付よりもかかる費用が無料というほうが助かる。松江市の医療費無料は大変助かっており、かかる費用がかからないというほうが分かりやすい。

○出席委員 高校生から奨学金の免除、支援を国、県、市にしてほしいという意見を頂いた。企業が学費を支払い、その費用を損金として計上できた上で、その学生を採用するという政策に関し、どのような意見をお持ちか。

○参加者 弊社では整備士確保のため、奨学金を貸与し、入社後数年働けば半額免除という企業奨学金という制度をつくり、この4月に第1期生が入社する。これを受けている学生は就職先も確保された状態ということもあり、喜んでいただいている。

○参加者 水辺の利活用について、考えていることは。

○出席委員 大橋川改修に関して、南側はイベントなどがしやすい護岸、堤防が計画されている。北側はまだ何もない。国も県もお金のことは応援するといっているが、松江市が方針を出さないことにはできない。若い皆さんから提案、提言を出していただけるとありがたい。

○参加者 地元、地域にどうやって貢献するかということを考えて、イベントなどの企画立案をしている。昨年、3年ぶりに大きなイベントを例年の規模で開催し、来場者に喜んでいただいた。市の補助金を使用しており、来年度以降もお願いしたい。

○出席委員 地域のイベントは、人間関係の構築に有用であって、その延長で地域づくり、まちづくりということがあるので、ぜひ続けていただきたい。

○参加者 地域の廃校になった小学校を例えばカフェなど、民間が気軽に活用できるようなシステムがあるとよいのではないか。

○出席委員 そういったことができる環境で整備しているので、地域で話し合ってもらって活用していただきたい。

○参加者 自分たちの地域にやりたいことがないから、大人になって県外に出ていくという意見が大変多く、これを解決しなければ地域に残ってもらえる人がどんどん少なくなるのではないか。

○参加者 松江市には300を超える公園があるが、使用されていない公園も多々ある。PFI化して、民間と行政と一緒に利活用できればよいと考えている。

	○参加者 何かの規制緩和に特化した特区を設定するなど、松江市がどう いう方にとって住みやすいまちなのかというターゲットを絞ることで、起 業する方にとってもマーケットが明確になるので、起業しやすさにつなが るのではないかと。
--	--

松江市議会議長 様

令和 5 年 2 月 10 日

議会基本条例第 7 条の規定により議会報告会(意見交換会)を
実施しましたので報告します。

令和 4 年度 議会報告会(意見交換会)

総務委員会委員長 河 内 大 輔